

校内研修計画

甲州市立祝小学校

1 学校課題

祝地区は、自然豊かで葡萄栽培、ワイン作りを中心とした地域である。学校と地域との結びつきが強く、学校教育に地域の方は理解を示し、とても協力的である。温かく優しい地域の方に見守られながら、児童は明るく元気に生活している。

ここ数年、本校の課題として、「学力の個人差」の問題が挙げられている。一昨年度までの校内研究では算数科の授業改善に取り組み、児童の学力・学習意欲の向上もある程度図られたが、家庭学習の定着も含め、個人差は依然大きい。

昨年度の校内研究は、豊かな心をもつ児童の育成—特別の教科道徳の授業づくりを通して—をテーマとし、「道徳読み」の授業法の研究に取り組んだ。「道徳読み」という型を統一して全学級で取り組み、主体的で深い学びというねらいに沿って研究することで、児童だけでなく、教師も教材に主体的に向き合うことができた。そして、教師は児童の学びを深める発問や話し合いの重要性について改めて学ぶことができた。しかし、児童は道徳的価値に関わった考えをもつことはできても、議論することには課題がある。

「道徳読み」を継続していく中で児童が学習の流れに慣れ、道徳的知識の蓄積をはかることができるようになってきたが、児童の豊かな心の育成が図られたかについては、児童観察をする中で検証したい。また、昨年度の研究をベースに、単元や内容に応じてより有効な他の手立てについて実践を通して学んでいくことや、「学力の個人差」を埋める手立てとしてのことわざ等の検定を継続できる体制を整えることについても今年度行いたい。

2 研究主題

豊かな心をもつ児童の育成 —道徳科の授業づくりを通して—

3 主題設定の理由

本校では、「心豊かでたくましく生きる子」を学校教育目標に掲げ、重点目標として「やさしい心で、自分から気づき考え、やりぬく子」を掲げている。めざす児童像として、「自ら学び自ら考える子ども（知）」「豊かな心をもつ子ども（徳）」「健康でたくましく生きる子ども（体）」の3つが設定されている。

平成29年度告示の新学習指導要領には、前指導要領の「生きる力」の育成の理念はそのままに、それをより具体化した下記の3つの柱が示された。

- ア 何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）
- イ 理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）
- ウ どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）

本校の数年来の課題である学力・学習意欲の格差、家庭学習の定着を、この3つの柱でとらえ直してみると、ウの「学びに向かう力・人間性等」の育成が、より学校教育目標の達成と学校課題の解決につながるのではないかと考えた。そこで昨年度は、児童の豊かな心の育成を目指し研究を重ねたのであるが、豊かな心の育成が図られたかについての検証は、難しかった。また、道徳の目標を達成するために、どのように教科書を使いどのように評価していくかについても、まだ実践のノウハウが不足していると言わざるを得ない。そこで、昨年度の研究を継承し、今年度も豊かな心をもつ児童の育成（道徳教育）に焦点を当てて研究する。学校経営方針と祝小道徳教育の重点目標を踏まえ、具体像を「元気よくあいさつし、やさしく思いやりのある児童」「友達と高め合いながら、進んで学習する児童」「ねばり強くあきらめない児童」とする。道徳の授業づくりを研究し実践を積み重ねることで、祝小の道徳教育を充実させ、豊かな心をもつ児童の育成の達成に近づけるように、この主題を設定した。

4 研究の具体的内容と方法

- (1) 授業研究（研究授業、一人一実践授業、確かな学力育成プロジェクトへの取組）
一人一実践授業・・・一実践授業を行い、小研究会を行う。（実施後の放課後）
効果のあった（なかった）方法や工夫を互いに提供（情報交換会）（7月3日・10月23日）
- (2) テーマに関わる理論研究
道徳の授業づくりについて学習会（5月15日・予定）
- (3) 道徳意識調査の実施と活用
道徳意識調査の作成（4月17日）、実施（5月）、活用（6月以降）
- (3) 「Q-U」の実施と分析・活用の充実

年間研修計画

研究主任 小林 淳子

研究テーマ	教科・領域	担当者	学年	日程 (授業の時期)			T C 要 請	
				月	日	回数		
豊かな心をもつ児童の育成―特別の教科道徳の授業づくりを通して―	今年度の研究の方向性について 確かな学力育成Pの取組みについて		研究主任		4	3	①	
	今年度の研究主題・研究方法について 祝小家庭学習の手引きについて 道徳意識調査項目について	道徳	研究主任			10	②	
	研究主題・研究方法の決定 ブロック組織の決定 道徳意識調査項目の決定 ことわざ等の検定・家庭学習の見取りや評価	道徳	研究主任			17	③	
	道徳の授業づくりについて学習会 「考え・議論する道徳を実現するための指導の工夫 について」	道徳	研究主任		5	15 (20.13)	④	○
	(平成30年度「NRT」検査結果分析 「確かな学力」育成プロジェクト「あいさつ」「学 習規律」に関する取組について) ブロック別研究会 (一人一実践授業の計画) 道徳意識調査集計	各教科 道徳	研究主任 ブロック長		6	5	⑤	
	第1回Q-Uの分析 第1回Q-U分析結果の共有化	集団づくり	学級担任 教務主任			14	⑥	
	確かな学力P 斎藤勝先生教育講演会	集団づくり	確かな学力育成プ ロジェクト			19		
	ブロック別研究会 実践の共有化 (情報交換会)	道徳	ブロック長		7	3	⑦	
	確かな学力P 玉井邦夫先生教育講演会	集団づくり	確かな学力育成プ ロジェクト			5		
	教育課程説明会の還流報告 著作権についての学習会	各教科	各教科主任 司書		8	21	⑧	
	ブロック別学習会 (個人研究等)	道徳	ブロック長		9	4	⑨	
	全国学力学習状況調査結果分析と課題解決に向け た取組について	国語・算数	確かな学力育成プ ロジェクト			11	⑩	
	ブロック別学習会 (授業案検討等)	道徳	ブロック長 授業者		10	9	⑪	
	「授業づくり・授業改善」に関わる学習会 盛山隆雄先生講演会		確かな学力育成プ ロジェクト			11		
	研究授業指導案検討① (全体会)	道徳	授業者	5年		16	⑫	
	研究授業指導案検討② (ブロック別学習会) 実践の共有化 (情報交換会)	道徳	授業者			23	⑬	
	第2回Q-Uの分析・分析結果の共有化	集団づくり	研究主任			30	⑭	
	研究授業	道徳	授業者	5年	11	13	⑮	○
確かな学力育成プロジェクト教育講演会 河村茂雄先生講演会		確かな学力育成プ ロジェクト		12	6			
研究の成果と課題アンケートについて 道徳意識調査集計 ブロック研究のまとめ	道徳	研究主任 ブロック長			11	⑯		
確かな学力P 竹下和男先生講演会		確かな学力育成プ ロジェクト		1	22			
研究のまとめ 研究紀要作成について	道徳	研究主任			29	⑰		
研究紀要の作成・製本	道徳	研究主任		2	26	⑱		